

# 星屑

2013年2月号

No. 455



馬頭星雲

Sharpstar 50ED + ポーグレデューサー0.85DG  
KissX3改 ISO400 露出合計38分

熊本県民天文台

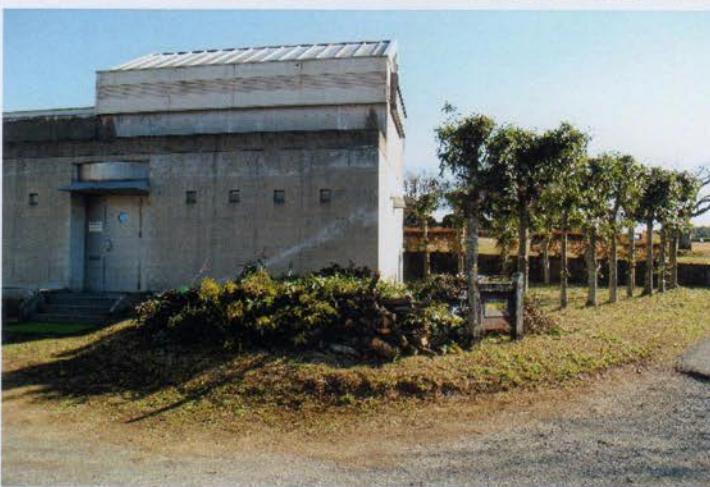
12/7(金)-8(土) 天文台敷地内の樹木剪定と大掃除  
**「熊大天文部」も応援に！**

夜は、鍋を囲んでの「大宴会」になりました·····



**天気予報では曇りか雨**

事前の予報では土曜日のお天気が悪そうでした。そこで、前日の金曜日に、私（艶島）1人で樹木の選定作業を先行して実施。土曜日の大掃除の時には、切り落とした樹木の枝を集めたり縛ったりする作業だけを実施すればよい状態にしておきました。



**今年は大して伸びていない？**

観測室から見ると、そう見えました。昨年の剪定作業の時に思い切って伐採しておきましたから、その時の記憶も手伝って「今年の作業は簡単そう」だと思えたのかも知れません。

しかし、棒樅の木にハシゴを立てかけ、エンジンチェーンソーを使って選定作業を始めたら、たちまち安易な期待は吹き飛びました。



電動チェーンソーを使った昨年の作業よりも、木を切る速度は格段に速いのです。ところが、調子に乗ってバッサバッサと伐り落としてしまうと、脚立の足元付近に切り落とした枝葉がたまってしまい、身動きがとれなくなってしまうのです。これには参りました。

それで、1本の3分の1くらい剪定が進んだら、一旦ハシゴを下りて、切り落とした枝を1m以下の長さに切り刻み、邪魔にならない場所に運びました。それから、またハシゴを登って、選定を続けます。

こんな作業を黙々と続けて・・・・、南側の棒桺、東側のモクセイや梅、北側のビワやサザンカ・・・と、次々に刈り込んでいきました。

こうやって、樹木の剪定を金曜日に済ませておくはずだったのですが・・・、北東側の角に生えている梅の木は、昨年もかなりの量を切ったのに、残した数本の枝が繁り広がっていて、簡単には切り落とせません。作業を続ける私は息が上がってしまい、足元に積み重なった梅の枝を避けようとしても、足元がよろついてしまうほど。ここが限界ですね。

### **土曜日にも続きを**

それで、土曜日の午後、熊大天文部の学生さんが応援に駆けつけて下さるのを待って、梅の木の選定作業（続編）に取りかかりました。

梅の木にハシゴを立て掛け、樹上で大きな枝から枝分かれしている部分をまず切断しました。樹木の枝は、「五本の指を最大に広げた手の平の形」になっており、更にそれらが重なり合っています。それで、幹に近いところでいきなり伐り落としても、そのままでは地上に落下してくれません。それだけでなく、絡み合った他の枝が支えになって、切り離した瞬間に思わず方向へ動いてしまうことさえ有るからです。

危険を避けるためには、広がった細い枝から順に切断して行き、最後に太い枝を切り落とす方が良いわけです。このあたりの作業手順、昨年度に古墳公園内の大きな樹木を剪定してもらった際、プロの樹芸業者さんたちが作業する様子を見学して習得したのでした。

切り落とした枝1m以下の長さに切り刻むのに、かなりの労力を要しました。

ふうーーーーー！

### **19年分を一気に整理**

観測室からの視界を確保するために、毎年剪定し続けては来ましたが、長年の間手つかずだった樹木もあって、それらは天文台を古墳公園内に移転してからの19年間、伸び放題に繁っていたわけです。それを、去年と今年とで一気に整理したわけです。周囲の眺めが随分とすっきりしました。今回の頑張りで来年からの大掃除にかかる手間がうんと少なくなってくれれば・・・と思います。

例年、何もかも（身体を張って?）自分たちの手で維持管理していますが、私たちも少しずつ高齢化していますからね。そろそろ、楽に管理できる状態に維持することや、楽に管理する方法などにも注目していった方が良さそうですね。

### **ヒモで束ねて**

切り落とした枝葉は、もう一度点検して一本一本を切り離し、長いものを1m以下に切り刻んでから、1人で持ち運べるくらいに束ねてヒモで縛り、天文台の看板の側に1箇所に集めて積み上げておきました。これは、あとで市役所城南総合出張所が処分して下さる事になっています。一昨年までは盛大にたき火をしてこれらの樹木を焼却処分していたのですが、去年から、このような処分法に変わっています。

### **鍋・チーズフォンデュ・お酒！**

屋外での作業が一段落した頃、室内の清掃作業もほぼ片がつき、夕食の食材を買い出しに行つたメンバーも戻ってきて、台所では下ごしらえが進んでいます。しっかり身体を動かして、天文台の内外がスッキリ片付いたし、あとは恒例の夕食会、宴会モードへ突入です。



### 30周年記念号を発行

もちろん宴会だけを楽しんだわけではありませんよ。この時、集まった全員が天文台との関わりを振り返ったりしながら、30年間の活動の中で一番印象に残った写真や出来事など、自分の思いを綴って、「星屑 30周年記念号」も制作・編集・印刷・製本・発送準備と、真面目な作業もしっかりとこなしました。13時に始まって、日付が変わるまで（変わったあとも・・・）たっぷりと頑張って下さった皆さん、本当にありがとうございました。

その詳細は・・・・と書こうとしたけど、食べるのに忙しく、おしゃべりするのに夢中で、今となっては記憶が定かではありません。それで、熊大天文部の学生さんが撮影してメール添付で送って下さった1枚の写真を掲載することにします。

これは、宴会開始の「乾杯」のシーン。どうです、全員がとても楽しそうでしょう？

## 1/12(土) あしきた青少年の家 が 主催 「星の観察会」 小学生20名 + 引率5名

豊野少年自然の家で宿泊研修、日曜日は五ヶ瀬でスキーを体験!

### 予報に反して、晴れました

「週末は天気が悪くなる」という予報だったのですが、外れました。お昼過ぎには「今夜は晴れる!」と確信しました。それで、C-11 (28cmシュミカセ) と12cm屈折、5cm屈折の3大を持参することにしました。もちろん、室内での解説用にパソコンなども忘れずに準備、この日向けの解説（電子紙芝居）も追加しておきました。

「星の観察会」の開始時刻（19:00）よりも1時間半以上の余裕を持って、豊野少年自然の家に到着。早速、望遠鏡を組立たりプロジェクターを設置したりして、設営を行いました。今回は応援が無く1人での作業でしたが、順調に準備進み、持参したおにぎり弁当を広げて夕食。子どもたちが食事をしている食堂にお邪魔して、そのそばに座らせてもらったので、事前の交流も出来和やかな雰囲気作りができました。

### 木星・ベテルギウス・リゲル・M42・スバル

望遠鏡を操作して目的の天体に向か、観察してもらいながら解説を展開。質問も受け付けながらのいつものやり方です。木星の縞模様や衛星もハッキリと見え、オリオン大星雲もバツチリ! スバルは無数の星が集団をなしていることに驚いた様子でした。ベテルギウスが今にも爆発して飛び散ってしまうかも知れないことや、オリオン大星雲付近で星が生まれていることなどにも深い興味が湧いたようです。

それに、M1（カニ星雲）の在処も指し示して、「昔の人（平安時代）もこのあたりに超新星を見たんだよ、今でもその残骸が見るよ」という解説をしたときは、目を白黒させて驚いていました。「星が生まれたり死んだりする」ことは、意外なほど知られていないようですね。

### 1時間ほど観察して

頭上に見える秋の星座・冬の星座も、レーザーポインターを使って線で結んで解説。星座物語もあらすじを解説しましたら、これはとても好評でした。やがて、質問も出なくなつたので、「そろそろ満足したかな?」と判断、室内に移動しました。

と、ここで、私は焦つてしまつたらしい。·····

たぶん、時計を見たときに、読み取った時刻とこのあととの予定との関係とを勘違い。

珍しく、パニックに陥つてしまつたようです。

「早く終わらなくつちや、次が間に合わない!」って。

それで、せっかく準備していた電子紙芝居の上映を諦め、「お土産写真」を配布し、その簡単な説明をし、「観察のまとめ」をやって、「観察会の終了」宣言してしまいました。

### ドタバタと片付け

プロジェクトやパソコンを片付け、それから外に出て望遠鏡を片付け、息をつく暇もないほど夢中で撤収作業をしました。望遠鏡などの機材を車に積み込み、最後に、少年自然の家の玄関前広場をグルッと一周して、あたりをヘッドライトで照らし、忘れ物がないことを確認して、家路につきました。

ふうーーー！ もう少しで我が家に着くぞ。急いで着替えて、博多へ移動だ！ パソコンをリュックに詰め替えて、それから熊本駅へ直行!! 急がないと新幹線の時間に遅れる!! ··· そんな考えが頭の中をグルグル·····グルグル·····、あれ??!!

「帰宅の予定時刻より早いぞ!?」「遅れているはずなのに、どうして?!」····???

——☆ ここで、ようやく、時計を読み間違つたか、残り時間を計算し間違つたか····、だと気がつきました。 ☆-----

「あれまあ、ごめんなさいね、少し早く終わりすぎました!!」でも、もう、後の祭り。続けて天体画像教育利用ワークショップ参加というハードスケジュールに気を取られましたね！

15分ほど早く始めさせてもらっていたし、星がたっぷり見られて喜んでもらえだし、お土産写真も提供したから、今回は許して下さいね!!

### ★★★ これからのスケジュール ★★★

**2/23(土) 豊野みどりの少年団 「星の観察会」**

☆☆☆ 小学生20名 と 引率5名 が 来台 ☆☆☆

**3/29 窯元で「月と星の観察会」**

☆☆☆ 宇土市 の 文窯・ハハ窯工房 で開催 ☆☆☆

# ☆☆☆ ちょっと一眼

## Poem & Illustration

寒い寒い年末から、寒い寒い新年へ。去年の11月末からのこの寒気、いったいいつまで続くのやら。天文台隣の観測専用ドームで彗星観測しているJ氏によると、とても寒かった1月4日の朝、外気温は-7°Cだったそうで…

3日の夜も4日の夜も、それは綺麗な晴天で、カノープスとM42を堪能しました。さて、太陽フィーバーだった去年ですが、今年は彗星年となるんでしょうか？楽しみですね。晴れたきれいな星空をいっぱい楽しめる一年となりますように。



## 南極老人

きん と静まりかえった空に  
冬のダイヤモンド  
そろそろ  
ご老人が顔を見せられるころ  
と  
お迎えに

ようこそ いらっしゃいませ  
今年もまた  
良い運を運んでくださいました  
温かいお茶はいかがですか？  
ワインと申す異国のお酒もございます  
なんでも 南半球の国からの土産だとか  
あちらでは  
あなた様は きっと  
天高く明るく輝いておられるのでしょうね

せっかくのお出ましですから記念撮影いたしましょう  
皆様のご健康とご長寿を祈って  
いろいろ厳しいこのご時世ではございますが  
どうか  
良き一年となりますよう



By Dio

# 2012年12月の県民天文台 ～運営日誌より～

開台率 4日／11日=36.36%  
一般来台者数 8名

総開台日数 6日  
会員来台数 18名

日付	天気	担当運営	来台数	記事
1日 (土)	曇り／ 晴れ	中島	2人	木星、月  シーイング最悪。月すらよく見えず!!炎のよう な月でした。しかし、親子でしっかりと星見を 楽しんでもらいました。
6日 (木)	晴れ	艶島	0人	大掃除の日は天気が悪そうでしたので、今 日樹木の剪定をしておきました。私1人で作業 をしたので、木の枝を伐り落としたままにして います。 土曜日に、切りそろえたり、束ねてヒモで縛 ったりして下さい。
8日 (土)	曇りの ち雨	艶島、中島 小林J西嶋 小林M 高田、熊大 天文研究会 から6人	0人	昼から大掃除  敷地内の樹木の剪定と、切った枝をそろえ てまとめる作業。熊大生が大活躍しました。 艶島さんはチェーンソーでぱりぱり切っていました。  その後、室内の大掃除に取りかかり、壊れ たテレビやディスプレーなどを捨てにいきました。  その間に、夕食の鍋の準備を進めていきました。すっかり暗くなった頃、やっと星屑の印 刷も完了して鍋をつつきながらの忘年会にな りました。今回の鍋は、水炊きとチーズフォン ディーユです。ワインや日本酒を開けながら 賑やかに会が進んでいきました。残念ながら 途中で帰る人たちはノンアルコール飲料で我 慢です。  こうして、すっかりきれいになった天文台を 後にしたのは、夜明け前のことでした。疲れ ました・・・。
9日 (日)	晴れ のち曇 り	艶島	0人	星は見えているけどお客様はなし。20:30 で帰ります。  室内にアシナガバチが2匹。うち一匹は仕留め ました。昨夜の臭いがこもっていたので換気し ました。

日付	天気	担当運営	来台数	記事
23日 (日)	晴れ	艶島 小林M	2人	月、リゲル、木星
24日 (月)	晴れ	艶島	1家族 4人	木星、ベテルギウス、リゲル、M42、月、月の撮影  「是非来たい!」と電話があったので開台しました。熱心な親子でした。

今月は、週末になると天気が悪くほとんど運営ができませんでした。残念なことでした。年が明けても、なかなか週末は晴れませんね。写真を撮る暇がなくて、表紙の写真の準備が大変です。今回は、冬の定番の馬頭星雲を5cm屈折望遠鏡で撮ってみました。

データです。

#### 馬頭星雲

Sharpstar 50ED + ボーグレデューサー0.85DG

KissX3改 ISO400 露出合計38分

タカハシEM-200 K-astec改 ボーグ76ED+ミードDSI+PHDでガイド

撮影地 熊本県熊本市南区城南町の自宅屋上

やはり、まだ露出不足です。空が明るいので5分間露出が限界なので、どうしても美しくなりません。現在の組み合わせではフィルターがつけられないで、今何とかしたいと考えているところです。

それにしても、国際光器扱いのSharpstar 50ED はお値段以上の働きでますますの写りです。ちょっと持つて出かけるのにも気軽に扱えるので、重宝しています。これから少しづつ外に持つて出て撮影できたらなと思います。



あけましておめでとうございます。本年も宜敷御願い致します。昨年は金の年でしたが、今年は彗の年になってくれたらなあと思っているのは、私だけではないはず。ただ相手が彗星だけに、水の泡となったり…。(^^;) 今年はそれぞれにいろんな天文現象が見られるので、今年も当たり年ですね。後はお天気の神様に、晴れのお祈り~。(^^)

## ☆ 2月の天文現象＆行事☆

- 3日（日） 下弦（22：56） 節分
- 4日（月） しし座Rが極大（4.4～11.3等 周期310日）  
立春（りっしゅん … 春の始まり。前日の節分は厄払い）
- 7日（木） 夕方の西空低く、水星・火星・海王星が集合
- 9日（土） トーケアバウト（天文台にて 20：00～ 変更の場合もあります）
- 10日（日） 新月（16：20）
- 17日（日） 水星が東方最大離角（06:30 -0.4等、視直径07.1"）
- 18日（月） ヒヤデス星団の近くで月と木星・ベスタが集合する  
上弦（05：31）  
雨水（うすい…冬の雪や氷が陽気に溶け天に昇り、雨水となって下るの意味）
- 21日（木） 海王星が合（22:09 8.0等、視直径02.2"）
- 22日（金） 木星が東矩（09:04 -2.4等、視直径40.0"）
- 26日（火） 満月（05：26）

特定非営利活動法人熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2013年2月号 通巻455号

発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226

熊本県熊本市南区城南町塚原2016番地 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

振替口座 01700-5-105697

NPO熊本県民天文台事務局

天文台ホームページ <http://www.kcao.jp/> メールアドレス astro@kcao.jp

メーリングリストの加入申し込み受付中 kcaohige2003@yahoo.co.jp 中島まで